

～40才前後の中堅幹部社員のための“異業種合同研修”カリキュラム～

新 設

基幹職/リーダー・マネジャーのための 異業種合同研修プログラム

— 次世代経営幹部候補の育成 —

《 本プログラムの趣旨 》

今日、我が国産業界は、20世紀バブル経済のつけである莫大な負の遺産を抱えつつ、長引く景気の低迷という厳しい経営環境の渦中において、暗中模索の状態が続いております。

また、世界規模の熾烈な競争により企業再編成やリストラ等の大幅な組織変革の見直しを余儀なくされています。そのような外的要因は企業内部での価値観等にも多大な影響を及ぼしています。各部門のミドルマネジャーは、従来の慣行や発想を変えて新たな価値を構築することが必要であり、そのためには絶えざる学習と信念のある行動が欠かせません。

これからの経営幹部候補には、既存のモデルに則ってマネジメントの定石を学ぶといった静態的な取り組みではなく、環境変化を先取りし、過去にモデルの無いなかで真っ白なキャンパスにデッサンし、それを具現化させるリーダーシップが求められます。明日の顧客は昨日までの顧客よりも学習し、企業に対してより高い期待を寄せる存在と言ってよいでしょう。我々がそうした顧客に価値と満足を提供し続けていくためには、先を見通して企画する力だけではなく、関係者をリードするビジョンと意思、スピードを伴った学習と実行が鍵になります。

本セミナーでは、異業種交流を通じて、参加者一人ひとりが視野を拡大し、様々なしがらみを払拭し、これからの経営の推進、変革の担い手としての勇気と見通しをもってもらうこと、変革実現のため足腰を強化することをねらいとしています。

ぜひとも趣旨にご賛同いただきますとともに、積極的なご参加をお勧め申し上げる次第です。



プログラムの構成

期待される効果

- ①多角的なものの方角を意識して自分自身の問題意識を研ぎ澄まし、経営幹部としての視点から課題形成と変革のシナリオを作成する。
- ②他社の取り組みや動向を踏まえ、自社とのギャップの認識を通して次世代リーダーに求められる広い視野を形成する。
- ③刺激をもとに新たな発想で自社ならびに自己の変革に取り組む視点を持ち、仕事に対するモチベーションと事業に対するコミットメントを高める。
- ④上記を達成するために、旧来の慣行やしがらみを越えた柔軟な発想で、これまでのメンタルモデルを克服するためのアクションを起こす。

事前課題

- ①自社・自職場の課題と各自の問題意識、自分の生き方（フォーマットあり）。
- ②ケーススタディ（経営改革がテーマ）。

特色

- ①異業種合同型のマネジメント研修スタイル（講義、チーム討議）。
- ②事業にフォーカスするビジネス・セッションと人間にフォーカスするキャリア・セッションを通してチームまたは個人としての意思を明確にする。
- ③合宿研修での気づきをインターバル期間中に自職場で実行・修正し、実現可能性の高い施策、実行シナリオに発展させる。

受講対象者

- ・新任マネジャー（特に基幹職マネジャー）。
- ・次世代の経営幹部候補（これまでのマネジメント経験は問いません）。
- ・会社／部門の変革の担い手、変革プロジェクトのリーダー、推進者。
- ・経営改革について問題意識を持ち、積極的に参加する意欲のある方。

参加企業

- ・山之内製薬株（決定）。
- *他7社程度（1社3～5人）計25人前後を予定しております。

プログラムのステップ

合宿研修 → 経営改革を実現させるためのマネジメント課題や事業開発、キャリア開発に関して異業種合同チーム内での討議や全体（2泊3日）討議を繰り返し、自己の行動計画に結びつける。



フォローアップ研修（1日） → 合宿研修での気づきや、そこで自ら定めた実行計画がどのように展開され、（1日）実現できたのかを検証し、行動改革の手がかりとする。

日時	プログラム
2004年2月5日（木） 12：50 13：00～13：30	<p>集合 オリエンテーション</p> <ol style="list-style-type: none"> ①ファシリテーターよりプログラムの狙いと進め方、ルールの説明 ②自己アイデンティティと企業アイデンティティの確認（参加者より） 「自己紹介（自分という存在）／スピーチ」 ・自分の生き方、価値観、人生における仕事の意味 「企業イメージ交換と経営課題の推測」 ・他の参加企業についてのイメージなど ・各社の経営課題と自部門の課題、各自のこれまでの取り組みとその成果 ・自社について訴えたいところ、変えたいところ、聞いてみたいこと <p>I ビジネス・セッション：経営環境の変化をどう捉えるか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日のマクロ環境の変化、顧客動向の変化が自社、自職場にどのように影響しているか、身近な変化として何があるか ・会社のビジョンと戦略を浸透させ、実行させるためのリーダーの役割 ・市場との対話：市場、株価を通して見た企業像と自社の課題 <p>夕食</p> <p>A キャリア研究セッション：●リーダーと人間力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーダーの人間力と組織求心力 ・自分とメンバーのキャリアにどう向かい合うか
18：30～19：30 19：30～	<p>ファシリテーター（全日程） 有限会社ソフィアート 代表取締役 竺原 雅人氏 1961年生まれ。1987年上智大学大学院博士前期課程修了（教育社会学） 教育／コンサルティング機関にて、各種研修プログラムの開発、組織・ 人事戦略の研究運営、昇進昇格に関わる試験・論文審査、アセスメント、 人事企画支援事業に携わる。 2003年 有限会社ソフィアート設立 代表取締役 *電機、精密機器、製薬、食品、損保、IT、商社をはじめとする 大手上場企業でのビジネスリーダー育成プログラム、ワークショップの 指導実績多数。 (ソフィアートのホームページ http://www.sophiart.co.jp/)</p>

日 時	プ ロ グ ラ ム
2月6日(金) 09:00~10:30	交流会
10:30~12:00	Ⅱ ビジネス・セッション：経営環境の変化とこれからの組織課題 ・組織の意思にどう向かい合うか 演習、発表 ケーススタディ（企業変革を実現するリーダーシップとは） 演 習
12:00~13:00	昼 食
13:00~15:30	ケーススタディ（続き） ・発表、コメント
15:30~18:30	変革を推進するエネルギーをどう引き出し、持続させるか ・変革の目的とその実行手段 ・エンパワーメントの具体的方法とマネジャーの役割 演習、発表
16:30~18:30	Bキャリア研究セッション：●善く生きるということ ゲストスピーカー 株メディアフォーラム 代表取締役 佐々木 直彦 氏 ・一人の人間として、どう生きるか（未来を描き、キャリアを拓く） ・経済活動との両立（スーパーな生き方、行き方）
18:30~19:30	夕 食
19:30~	交流会

ゲストスピーカー（2月6日）
株式会社メディアフォーラム
代表取締役 佐々木 直彦氏

1958年生まれ 一橋大学社会学部卒業
株式会社メディアフォーラム代表取締役
企業、学校等の「組織コミュニケーション改革」「意識改革」「リクルーティング」「社員が誇りを持つ仕事の創造」などのコンサルティングや「キャリア創造」「組織変革」「問題解決」「プレゼンテーション」の講師をつとめる。
(メディアフォーラムのホームページ <http://www.media-forum.com/>)
(ソフィアートのホームページ <http://www.sophiart.co.jp/>)

日 時	プ ロ グ ラ ム
2月7日(土) 9:00~12:00	Ⅲ ビジネス・セッション企業競争力の要としての学習力 ・学習する組織の考え方と各社の取り組み ・失敗情報の財産化（対話を通して経験を知恵に進化させる） 演習、発表 ヒントを手がかりに明日からどう展開していくか（各自の課題） 演習、発表
12:00~13:00	昼 食
13:00~15:00 15:00	総 活 解 散

フォローアップ研修（全1日）：2004年4月23日(金)

日 時	プ ロ グ ラ ム
2004年4月23日(金) 10:00~12:00	異業種交流チームでのまとめ ・各自の取り組みの振り返りと反省 (実行計画の検証)
12:00~13:00	昼 食
13:30~18:00	所属会社ごとの分科会 ・各自の取り組みの改善点 (今後どう発展させていくか、より良くやり抜くための相互アドバイス) 全体討論会
19:00	交流会 ☆全プログラム終了

ファシリテーター（全日程）
有限会社ソフィアート
代表取締役 竺原 雅人氏

「社団法人 企業研究会」のプロフィール

昭和23年5月、敗戦後の混乱と荒廃の真只中に、当時の有力鉄鋼メーカー中堅幹部（主に経理部門）を中心にして、数人の学者及び経済安定本部調査課の人々からなるインフォーマルな研究懇親会が開かれました。

その後、自動車、造船、紡織、製紙工業などのメーカーの有志も加わってくる中で一定の事務局機構を持つフォーマルな会員相互の研究機関への構想が打ち出され、同年12月7日、経済安定本部長官邸で正式名称を「企業研究会」として創立総会が開催されました。

当初、任意団体として発足した本会も研究活動の活発化と会員の増加とに並行し、昭和31年3月31日、通産大臣認可の社団法人に組織替えがおこなわれ現在にいたっています。

本年創立54年目を迎えておりますが、発足時から受け継がれた産・官・学共同による地道な実践研究の伝統は、現在25余りの研究交流事業やビジネス・スクールでの人材養成プログラム、さらに出版・編集活動などに見られるとおり、ますます強化され、比類なき研究機関として期待を集め、それを中心として多様かつ広範な活動が展開されています。

当会の歩みは戦後の経済成長を達成し、近年の国際経営・福祉社会の発展を担う企業の役割と軌をひとつにしているものといえましょう。

◆当会の役員◆

会 長	椎名 武雄	日本アイ・ビー・エム(株) 最高顧問	理 事	内藤 晴夫	エーザイ(株) 取締役社長
副 会 長	塙 義一	日産自動車(株) 相談役名誉会長	〃	内藤 久夫	東京電力(株) 常務取締役
〃	山本 一元	旭化成(株) 常任相談役	〃	中原 恒雄	住友電気工業(株) 顧問
〃	花房 正義	日立キャピタル(株) 取締役会長	〃	長谷川武彦	ヤマハ発動機(株) 顧問
専務理事	清水 省三	(社) 企業研究会	〃	平井 克彦	東レ(株) 取締役副会長
常任理事	上原 英治	東京ガス(株) 取締役副会長	〃	星野 敏雄	花王(株) 専務取締役
〃	潮田 敏	大成建設(株) 常任監査役	〃	御手洗富士夫	キャノン(株) 取締役社長
〃	館 糾	鐘淵化学工業(株) 相談役	〃	茂木友三郎	キッコーマン(株) 取締役社長
理 事	グリゴリー・クラーク	多摩大学 名誉学長	〃	吉井 毅	新日本製鐵(株) 常任監査役
〃	古賀 正一	(株)東芝 常任顧問	〃	石山 進	(社) 企業研究会 事務局長
〃	小林陽太郎	富士ゼロックス(株) 取締役会長	監 事	島村 昌孝	元・大和証券(株) 監査役
〃	鈴木 祥弘	日本電気(株) 顧問	〃	安部 彰一	亜細亜大学 教授
〃	田中 清隆	国際航空(株) 取締役社長	〃	谷口 昌己	公認会計士
					* 敬称略・五十音順

参加要領

【申 込 先】 社団法人 企業研究会 第二事業部

〒102-0083 東京都千代田区麹町5-3 麹町中田ビル2F
 TEL 03-5215-3513/FAX 03-5215-0952 E-mail: fukuyama@bri.or.jp / ishikawa@bri.or.jp
 ※本プログラムは、福山、石川が担当しております。お気軽にお問い合わせください。

【受 講 料】 1名 正会員 180,000円 一 般 200,000円 (消費税は別) (合宿費、飲食代、資料代を含む)

【会 場】 ●合宿会場 ※原則としてシングルルームを使用
 多摩市：JTBフォレスト ※宿泊要 <http://www6.ocn.ne.jp/~jtbfrst/> 〒206-0025 多摩市永山2-1-7 TEL 042-339-9500
 ●フォローアップ研修会場
 新宿区：日本出版クラブ会館 *最寄駅 JR飯田橋駅 〒162-0828 新宿区袋町6番地 TEL 03-3267-6111

【お知らせ】 ・下記申込用紙ご記入の上、郵送または、FAXにてご申し込み下さい。
 なお、受講者の方々の個別データ（自宅住所、出身地、趣味等）は、後日、所定用紙にご記入の上、ご返送願います。
 ・申込書到着後、受講票、会場略図、請求書等をお送りします。
 ・参加受講料の払い戻しは、原則として致しません。
 申し込まれた方が参加できない場合は、代理の方のご参加をお願い致します。

会 社 名	住 所
	(〒)
TEL () -	FAX () -

申込責任者	部課・役職	氏名（フリガナ）
E-mail		

フリガナ		所属・役職	
氏 名		E-mail	
フリガナ		所属・役職	
氏 名		E-mail	
フリガナ		所属・役職	
氏 名		E-mail	
フリガナ		所属・役職	
氏 名		E-mail	